

「知恵」

副校長 植木 直樹

令和3年4月に二つ橋高等特別支援学校に着任した副校長の植木です。よろしくお願ひいたします。早いもので約4か月が経ち、学校・生徒たちの様子が少しずつわかり、毎日が充実しております。保護者の皆様におかれましても、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。今後もよろしくお願ひいたします。

例年のこととはいえ体調管理に気を使う季節となりました。軽い風邪症状でも新型コロナウイルス感染症と見分けがつかないので、保護者の皆様も、日々、お子様の状態に気を使われていることと存じます。今年も室内で過ごすことが多く、また感染症予防のため普段からマスクを着用しているのでエアコンの無い室内や外出時、熱中症にはくれぐれも注意したいところです。熱中症とかかわりの深い猛暑日の日数について過去の記録(東京都)を調べると、明治時代には年平均0.22日、つまり5年に1日程度だったものが、昭和では年平均1.5日、平成では4.7日となり、最近の10年間では8.0日になるそうです。地球温暖化とヒートアイランド現象が深刻な事態となっており、新型コロナウイルス感染症対策だけでなく熱中症や台風・ゲリラ豪雨等の自然災害にも備えが必要となりますね。

さて、生徒たちは日々学校生活において何事にも一生懸命に取り組んでいます。ただ、生徒一人ひとりにとって一生懸命の度合いは異なります。(自分自身ではわからないこともあります。)私の好きな戦国武将の一人『武田信玄公』の言葉と言われている中にこのような名言があります。もともとはもう少し長く、前後の部分がありますが、一部抜粋して紹介します。

一生懸命だと、知恵が出る。

中途半端だと、愚痴が出る。

いい加減だと、言い訳が出る。

本校の生徒たちは、一生懸命な取組の中で、主体的に行動できている姿がたくさんあります。そして、そのような経験を通して「知恵」というものを身につけて次に活かしていると感じます。時々、愚痴を耳にしたり、言い訳を耳にしたりすることがありますが、私自身も何かに対し愚痴を言ったり、言い訳をしたりすることもあります。そのような時には改めて「中途半端であった。いい加減であった。」と反省をしております。これからも生徒たちの一生懸命さを教職員・保護者・関係諸機関等でバックアップしながら、多くの知恵を生み出してほしいと願っています。

本年度の学校閉庁日は、8月10日(火)～13日(金)です。通常の学校業務は行いませんのでご了承ください。原則として、ご相談、各種手続き等は、夏季休業明けの8月16日(月)以降にお願いすることになります。事故発生などの緊急時には、横浜市教育委員会事務局 特別支援教育課宛にご連絡をお願いします。

【連絡先】 特別支援教育課 045-671-3958

(平日：8：30～17：15)

「横浜市立二つ橋高等特別支援学校Webサイト」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/ss/futatsubashikoto/>



二つ橋スクールライフ



○1年生

毎朝、当番の生徒たちが校内の花の水やりをしています。彼らの周りを見渡すと、モクモクと空を押し上げるように大きくなる入道雲、花びらの上でピカピカ光る水滴・・・スポーツの授業では、プールも始まっています。夏が来ました！夏を有意義に過ごしましょう。家の手伝いをたくさんしてください。もちろん、宿題もがんばってください。何より、二つ橋でがんばって、将来働くんたという気持ちを高めてください。子どもも野菜も夏に伸びる！夏休みを終え、一回り大きくなって、たくましくなった皆さんにお会いすることを今から楽しみにしています。

二チニチソウにはこんなにたくさんの色の種類があるんだ、きゅうりは一日でこんなに大きくなるんだ・・・現在、一年生はたくさんの小さな気づきを経験しています。夏が終わると実習に向けた学習が本格化します。更に学びが深くなります。一緒に一つひとつ丁寧に進めていきましょう。

○2年生

昨年度から事前学習を進めていた、北海道への修学旅行は諸般の事情により次年度へ延期となりました。学校生活最大のイベントが延期になったことで、生徒たちも少なからず落胆したと思いますが、次年度、より世の中が落ち着いて、心から楽しめる状態になっていることを願います。

5月末から7月にかけて、前期現場実習が行われました。昨年度の実習に比べ、通勤時間も勤務時間も長くなった生徒がほとんどでしたが、学校生活で培った力を遺憾なく発揮できたことと思います。後期の実習からは、希望の職種での実習になります。いよいよ進路決定に向けた動きが本格的になってきますが、今後もしっかりと自分と向き合い、未来を切り拓いていってほしいと思います。

○3年生

楽しみにしていた修学旅行が直前に中止となり、続いて現場実習までも中止や延期になってしまったケースもあった中、不安な気持ちをコントロールしながら、日々の学校生活を大切に取り組みもうとする姿が所々で見られました。また、実習を行うことができた人たちも、卒業後に働く自分の姿をイメージしながら取り組んでいる様子も見られました。そのため、課題が改善されたときの達成感や喜びも大きく、一方で、課題が見つかったときの受け止め方も深くなっているように感じました。

間もなく学生生活最後の夏休みとなります。まずは体調管理や安全な生活を送ることを自分で意識していくことや、家庭の中でも何か役に立つことはないかを考え、自分でできることを見つけ、行動に移すことを心掛けることが、今後の実習や学校生活の中での成長につながっていくと思います。是非、時間を大切に過ごして下さい。

また、最後となる長い夏休みですので、たくさんの思い出も作って下さい。

○保健室

暑い夏がやってきました。プールでの水泳学習も2年ぶりにスタートし、少し日に焼けた生徒のみなさんの姿から、たくましく成長していることが日々こちらにも伝わってきます。

今年の夏も感染症対策と熱中症対策のどちらにも取り組むことが大切です。まずは十分な睡眠、バランスの良い食事、適度な運動で丈夫なからだをつくるのが基本です。基本的な生活習慣が正しく身についているか、ぜひ一度振り返ってみましょう。もうすぐ夏休みに入りますが、学校に通っているときと同じような生活リズムで過ごすようにしてください。休養も必要ですが、家でダラダラと過ごすのではなく、家の手伝いや涼しい時間には外に出て運動するなどして、きたえた体力が落ちないようにしましょう。夏休み明けには元気な生徒のみなさんの姿を見られることを楽しみにしています。